

意向調査のクロス集計<郵送調査>

	賛成・どちらかといえば賛成	わからない	反対・どちらかといえば反対	無回答 無効
全体	52.2%	9.1%	38.2%	0.5%
18～19歳	59.8%	9.2%	31.0%	0.0%
20～29歳	55.0%	12.1%	32.8%	0.0%
30～39歳	50.7%	7.5%	41.6%	0.2%
40～49歳	52.4%	8.8%	38.7%	0.0%
50～59歳	49.4%	9.7%	40.6%	0.2%
60～69歳	51.2%	8.9%	39.4%	0.4%
70～74歳	52.2%	7.8%	39.9%	0.1%
75歳以上	56.9%	9.6%	32.0%	1.5%

他の世代と比べて、若年層からの支持が高い 対象者：5,775人

賛否等の理由<郵送調査>

賛成

子どもたちに夢と希望を与えるから

北海道・札幌のPRにつながるから

雇用創出や経済効果が期待できるから

反対

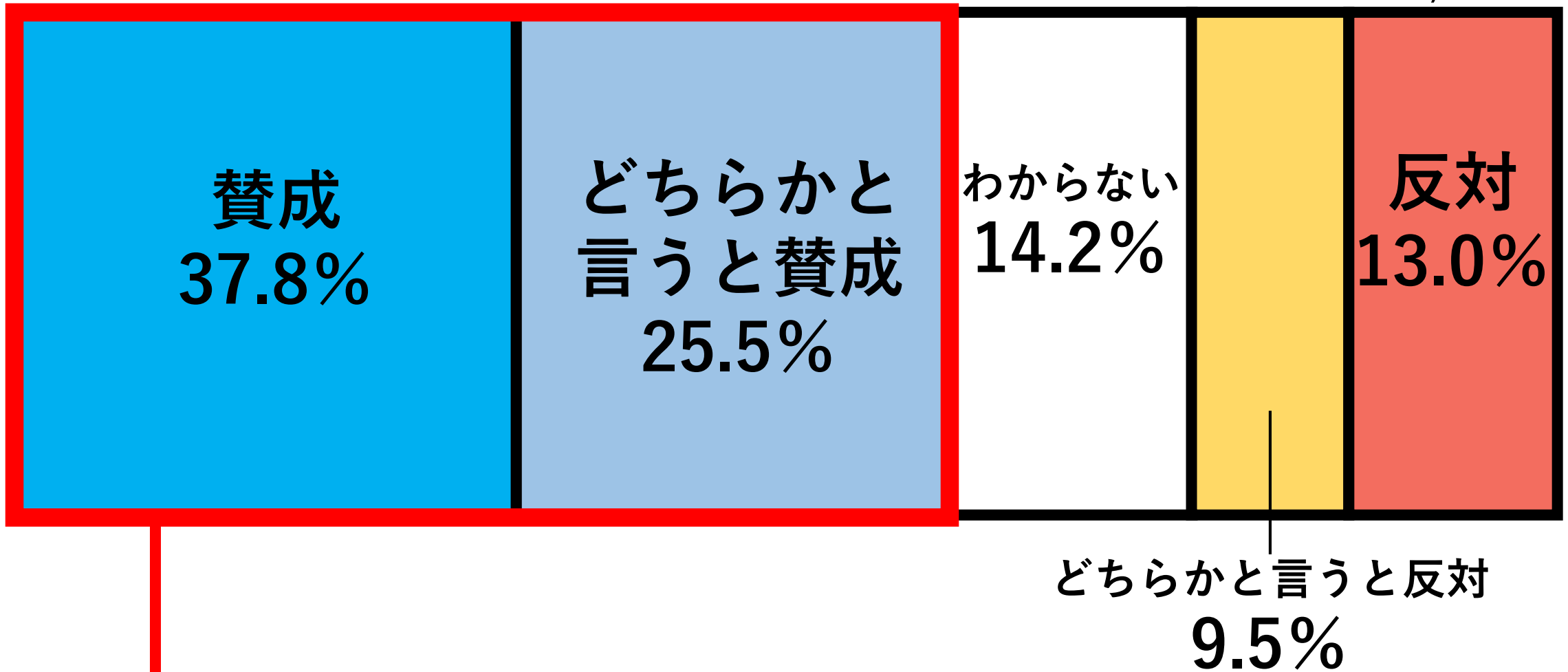
他の施策に注力してほしいから

開催に多額の予算が必要だから

北海道・札幌市のみで解決が難しい災害や感染症など不測の事態への対応が不安であるから

道内学生アンケート結果集計

対象者：1,274人



→ 回答者の63.3%が支持

今後のまちづくりとオリ・パラのレガシー

第2次まちづくり戦略ビジョンの概念とオリ・パラのレガシーが密接にリンク

戦略 ビジョン ×	ユニバーサル (共生)	ウェルネス (健康)	スマート (快適・先端)
オリ・パラ レガシー	社会	スポーツ・ 健康	経済・ まちづくり 環境
まちの姿(一例)	心のバリアフリー の浸透 建築物、 宿泊施設等の バリアフリー化	スポーツを身近で 楽しむ環境の充実 生涯学習・ 学び直しの 環境の充実	「スマートシティ」の 取り組みの浸透 ZEB・ZEHの普及や 再エネ・水素エネルギーの活用 スノーリゾートとしての 地位の確立

具体的な取り組みや到達目標などを市民ワークショップ等で議論、目標を共有

市民との対話

市民意向調査の結果において、一定数の反対の声があることから、市民の皆さまとの対話を継続し、不安や懸念を払拭するための取組を推進

■ 出前講座の拡充

- ・ 意向調査において比較的支持が得られていない現役世代にアプローチするため、企業等を対象とし、参加者の幅を拡大

■ 広報さっぽろによる周知

- ・ 開催経費などについてわかりやすく解説

■ 対談や討論の実施

- ・ 期待や懸念などを有識者や著名人と議論し映像等を発信

北海道・札幌2030プロモーション委員会①

■名称

- ・北海道・札幌2030
オリンピック・パラリンピックプロモーション委員会

■目的・ねらい

- ・札幌・北海道、日本における開催意義の議論を深め、
招致機運の醸成を図る
- ・日本全体に開催の利益がもたらされるよう、オールジャパンで
構成される組織とする

■組織形態

- ・札幌市とJOCが立ち上げるオールジャパンによる会議体組織

■主な活動内容

- ・定期的な会合を通じて、札幌市・JOCの理解促進や機運醸成
活動に対し、さまざまな立場からご意見や協力をいただく

■委員構成の考え方

スポーツ団体、経済界などの関係者に加え、

- ・オリンピック、パラリンピアン

- ・多様性、環境、まちづくり、教育など

スポーツを通じたSDGsの推進に関する有識者

- ・ジェンダー平等の理念の下、多くの女性委員の参画を検討

※ 具体的な委員リストは現在調整中